



明石市立
文化博物館

文化博物館だより 第235号

2008年10月9日

みなさん、こんにちは。明石城のお堀沿いの道すがら、キンモクセイの香がただよっています。

● ドーム展の列品解説

4日(土)午後2時から、ドーム展第1回目のギャラリートークがありました。今回は、学芸員の衣笠さんが1階特別展示室の列品を前にしての解説です。

ガレの工房が一代で閉鎖した一方で、ドームは、1878年の創業から現在まで続いています。創業当時の金やエナメルを使った生活食器から時代を追う形で、解説は始まりました。



展示室中央、「ペーパー・ウエイト花と蜂」の前で

アール・ヌーヴォーの時代には、ガラスを酸で溶かして描く技法で自然の風景や生き物を表現した作品で脚光をあびるようになり、続いて訪れたアール・デコの時代には、幾何学的なデザインの、エッチングやガラスを重ねる被せガラスの技法を使った色の美しい作品へと移行していきます。

ギャラリートークは、学芸員と観覧者が近い距離で解説を進めるので、途中参加された方から質問が出ます。デザインや技法についての解説を聞いた後で、再度作品を見つめると、時代の波に乗りながら歩んできたドーム作品の変遷とその作品の美しさをよりお楽しみいただけたのではないのでしょうか。

2回目のギャラリートークは、25日(土)午後2時～です。

● JAFの割引制度

観覧料に適用される割引に、新たに社団法人日本自動車連盟(JAF)が加わりました。JAFの会員証を受付にてご提示いただくと、最大5名まで通常の観覧料金から2割引になります。お持ちの場合は、入場券を購入される際に、ご提示ください。

秋祭シーズンです。文博の周辺では、稲爪神社のお祭があり、例年、大蔵谷の獅子舞が館の北入口付近で見ることができます。今年は、11日～12日に行われるそうですよ。